

「被災地の人のため」

県組合し尿収集作業員出発

宮城、岩手両県内で、し尿の収集運搬を担うため、県環境整備事業協同組合の作業員の派遣出発式が二十日、県庁であった。写真。



組合は県内のし尿などの収集運搬をする五十四業者でつくる。環境省から全国連合協同組合に協力要請があり、派遣を決めた。

現地に向かうのは、作業員百五人と、パキユーム車三十六台、指揮車一台、補助車四台。式では、隊長の松本年夫・日本環境クリーン社長が「被災地の人のために行って参ります」と述べた。

派遣期間は未定だが、長期化した場合

は、第二陣として別の作業員を派遣する。

(佐久間博康)